

事業継続計画は防災サバイバル 湖北高で対策授業



この記事で取り上げられた浜松湖北高校の生徒様への防災授業は、地域に根差す総合エネルギー企業を目指すエネジンにとって、次世代の防災意識向上を支援する大変意義深い取り組みです。

通常、事業継続計画(BCP)は企業向けの堅苦しいテーマとして語られがちですが、今回はいつもと少し視点を変え、「防災サバイバル」という新鮮な切り口で高校生の皆様が真剣に学ぶ姿に大変感銘を受けました。このニュースは、未来を担う若者が災害への備えを単なる知識ではなく「生き抜くためのスキル」として捉えるきっかけとなり、地域社会全体の防災力向上に大きく寄与すると確信しております。

エネジンは今後も、エネルギー供給を通じたインフラの強靱化だけでなく、こうした教育機関との連携によるソフト面からの地域貢献にも積極的に取り組んでまいります。

令和8年(2026年)7月16日(木) 中日新聞

